

1.ブロックプランの検討について



1.目的

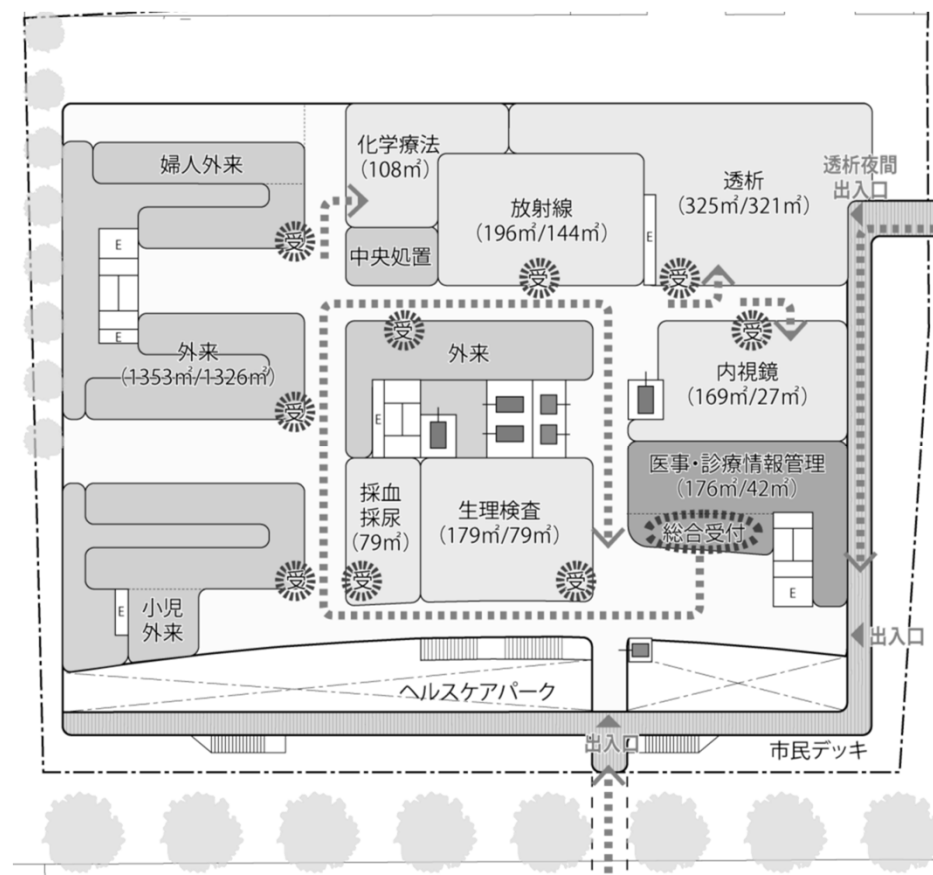
病院の骨格となる部門配置を確定し、
以後の諸室の検討をスムーズに進める
ことを目的とします。

2.主な検討内容

- ①. 階単位の構成
- ②. 各フロアの部門配置
- ③. 主な動線の確認
- ④. その他設計に関わる運営条件の確認

※これにより全体配置を一旦確定します。

以後の検討では、原則大きな配置の変更は
ないものとして進めます。



ブロックプランイメージ

2.単線図の検討について



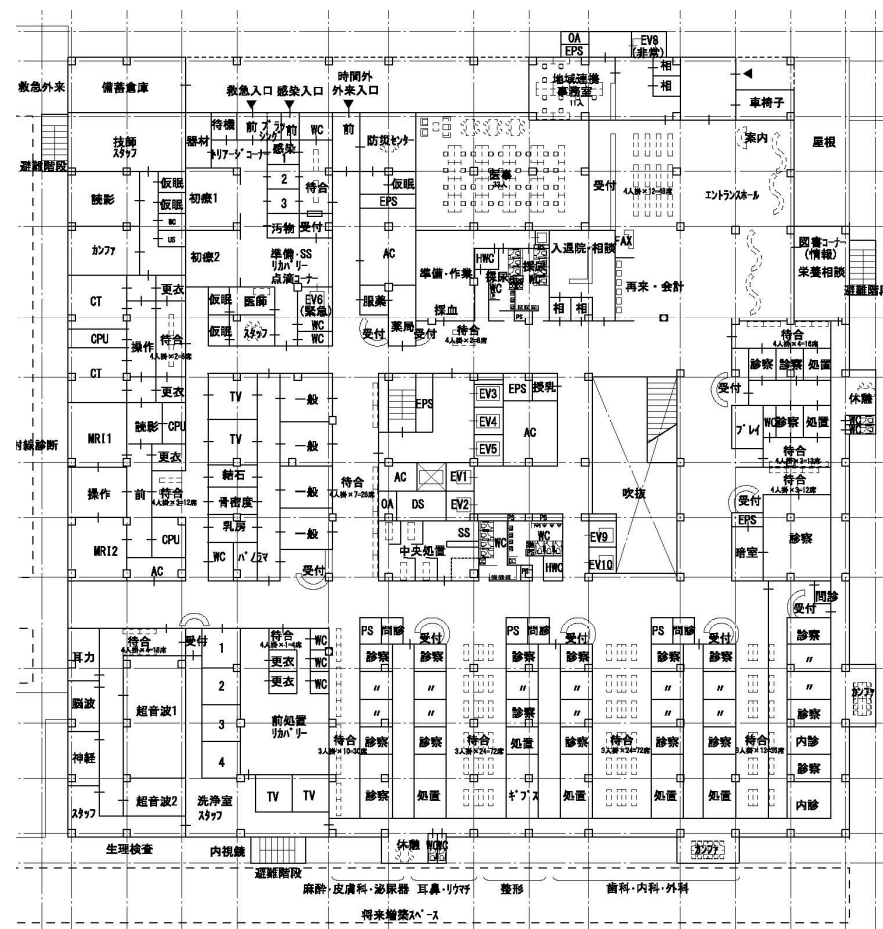
1.目的

各フロアの部門毎に必要な諸室数、面積、動線等を確認することを目的とします。

2.主な検討内容

- ①. 部門毎の必要諸室
- ②. 部門内の動線
- ③. その他設計に関わる運営条件の確認

※これにより動線を含めた病院の基本的な配置を一旦確定します。



単線図イメージ

3.設備配置の検討について



1.目的

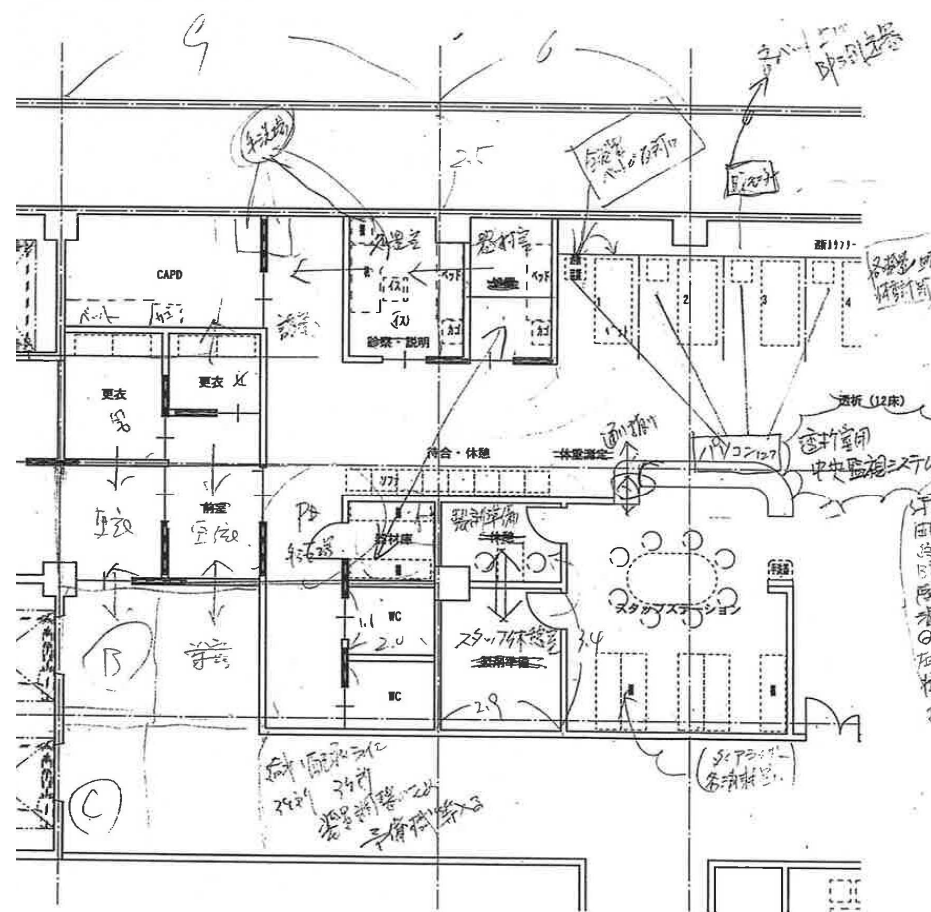
医療機器や大型什器の配置を確認し、平面計画との整合を確認することを目的とします。

2.主な検討内容

- ①. 大型医療機器の想定(仕様、台数)
- ②. 大型什器の想定
- ③. 移動が可能な医療機器の想定
- ④. 温度・湿度・電圧等の負荷条件

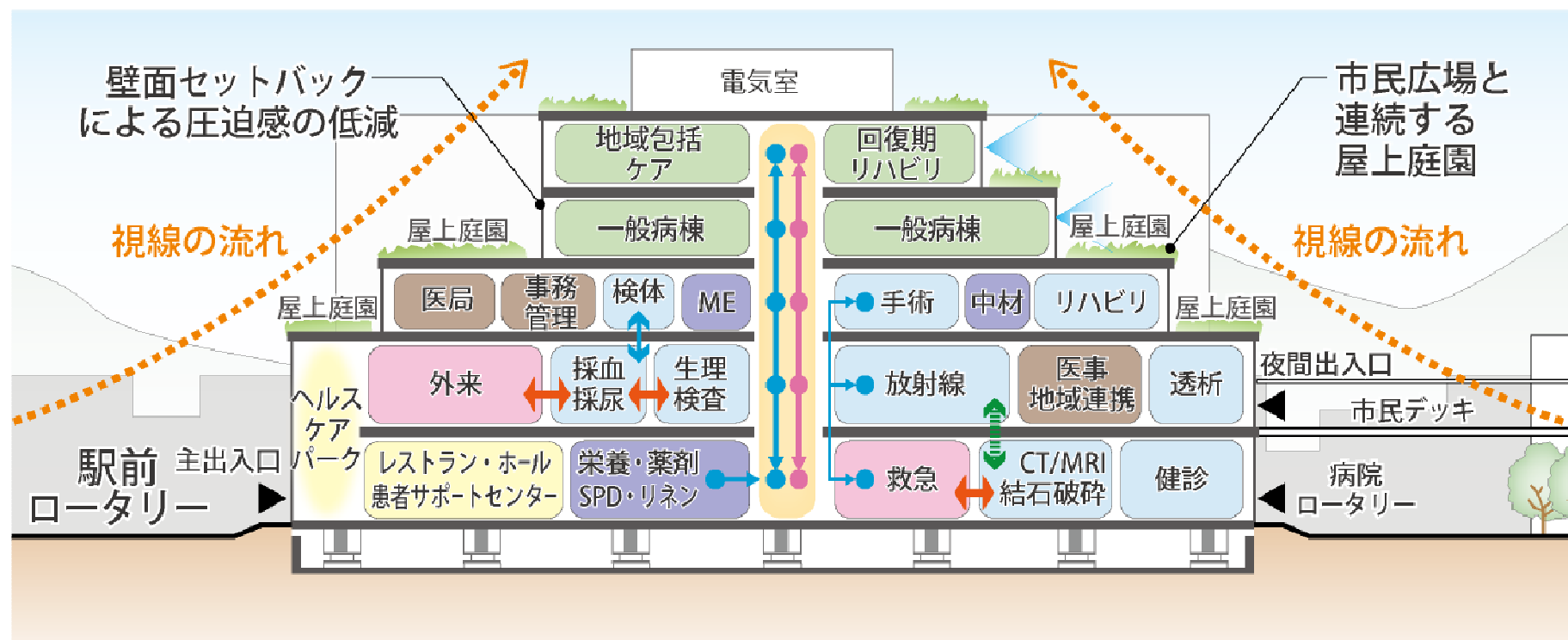
※これにより、電源・給排水・排気・

室環境等を実施設計に反映することが可能となります。



設備ヒアリングイメージ

4.断面計画について



【凡例】

外来ゾーン スタッフゾーン 外来部門 診療部門 サービス部門 管理部門 病室

医療搬送用 EV 患者用 EV 小荷物専用 EV 部門間直結階段

関連部門の平面集約と垂直連携によるゾーニング・周辺環境と調和した病院の形態

ポイント

- ①. 外来診療は2階で完結し、患者は上下階の移動なく診察が完了
- ②. 1階の救急部門と3階の手術部門は専用EVで直結
- ③. 2階の採血・採尿と3階の検体検査は小荷物専用EVで直結

5. 1階平面計画について



○ 検討事項

- 救急部門の運用方法の確認
- レストラン・コンビニの運用、野洲けんこうホールの運用の考え方
- 患者サポートセンターの考え方(地域包括支援センター機能、地域連携機能、訪問看護ステーション機能、入退院調整機能、執務室等)
- 夜間出入り口へのアクセス
- 交流/商業施設との機能の共用化(会議室、レストラン、薬局、WC)
- 各部門の運営方法との整合

【凡例】

外来ゾーン

スタッフゾーン

外来部門

診療部門

サービス部門

管理部門

病室



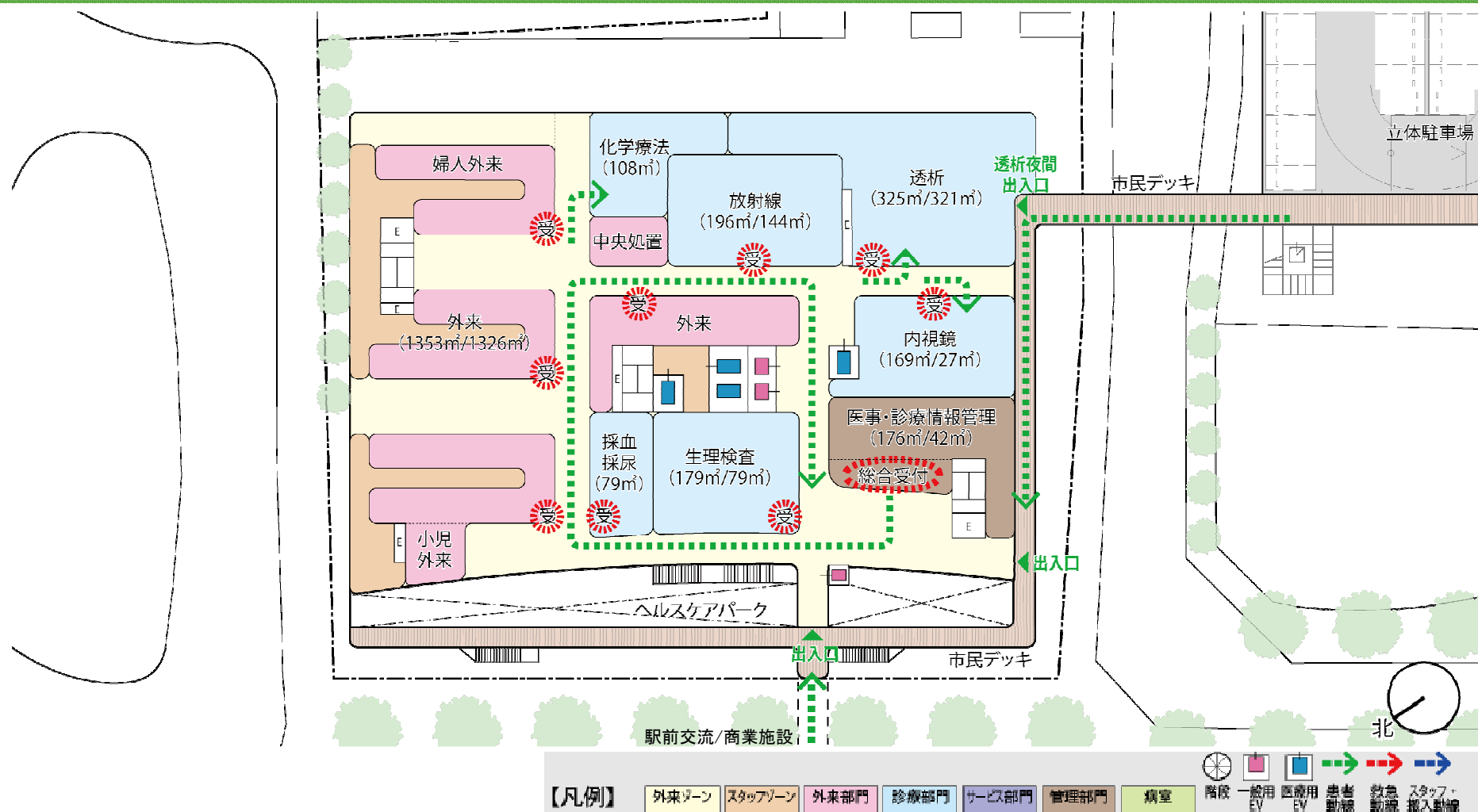
一般用 EV

医療用 EV

患者動線

救急・スタッフ・搬入動線

6. 2階平面計画について



○ 検討事項

- ・ 外来、入院、救急などの会計の方法
- ・ 外来診察室数の設定
- ・ 透析部門の運用の確認
- ・ ヘルスケアパーク内の外来用EVの扱い
- ・ 各部門の運営方法との整合

7. 3階平面計画について



- 検討事項
 - ・ リハビリ部門の運用と面積設定の妥当性
 - ・ 各部門の運営方法との整合

8. 4階平面計画について(一般50床×2)



- 検討事項
 - ・ 個室率の設定
 - ・ 差額ベット数の設定
 - ・ 各部門の運営方法との整合

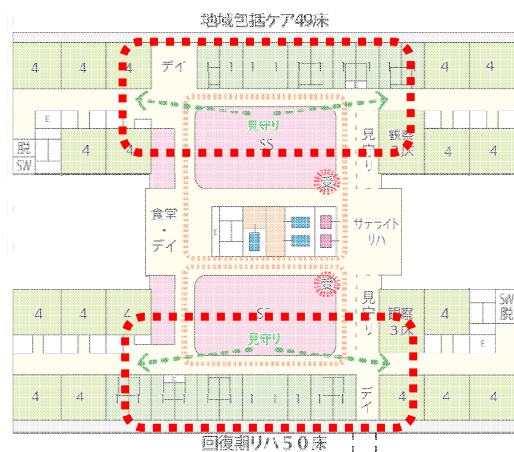
9. 5階平面計画について(地域包括ケア49床、回復期リハ50床)



- 検討事項
 - ・ 病棟リハビリの考え方について
 - ・ 個室率の設定
 - ・ 差額ベット数の設定
 - ・ 各部門の運営方法との整合

10.病棟計画イメージ

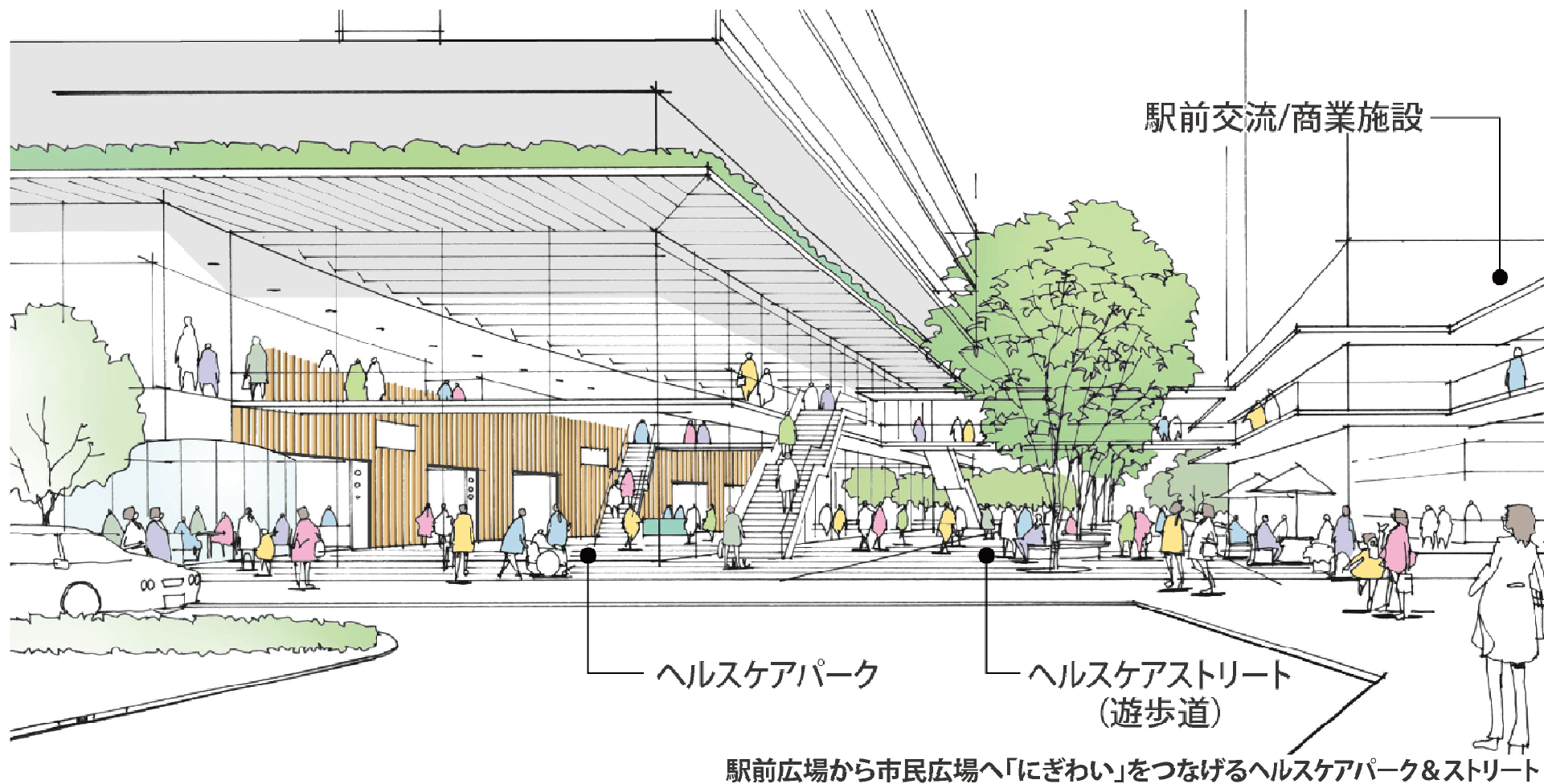
- 見守りしやすい
個室ゾーン



スタッフステーションから見守りやすい個室ゾーン

11. 参考資料

「野洲ヘルスケアタウン」

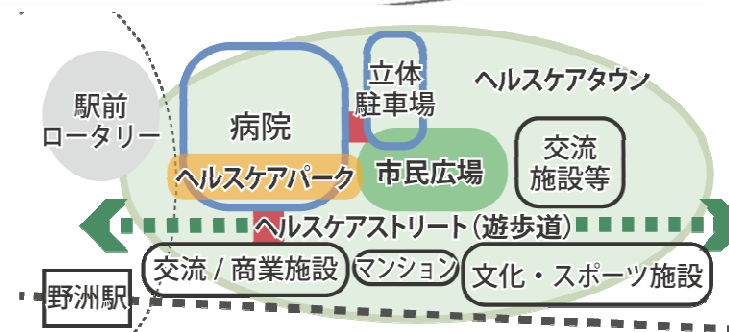


新病院は駅前の利便性を活かした、誰にとってもアクセスしやすく開かれた、医療・保健・福祉介護の連携拠点となります。

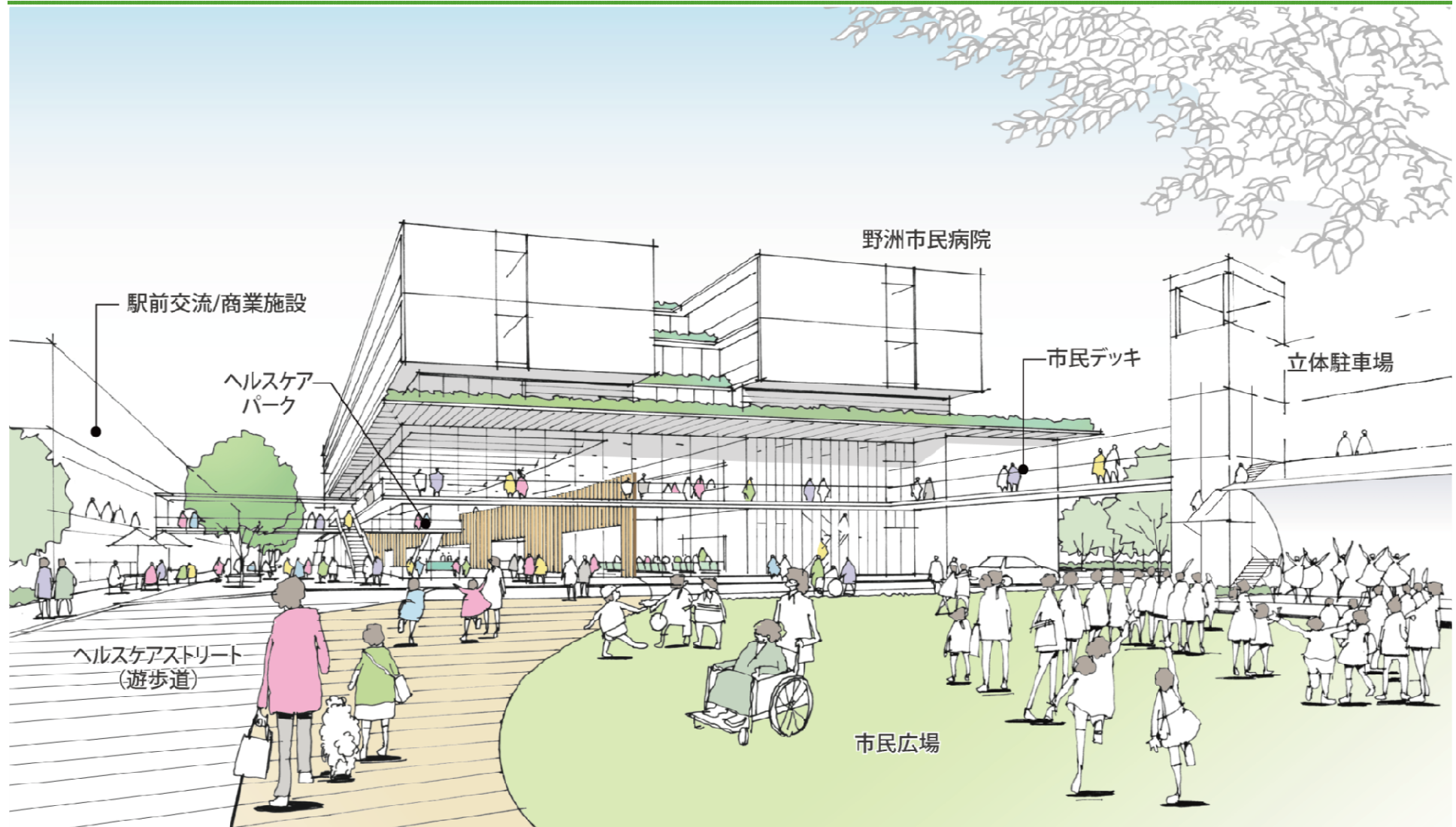
12. 参考資料



- 1階は「地域包括ケア」の機能を担います。
- 2階以上は病院の機能を担います。
- 病院と市民広場、その2つに挟まれた道路で仕上を統一することで、歩行者優先の「ヘルスケアタウン」としています。



13. 参考資料

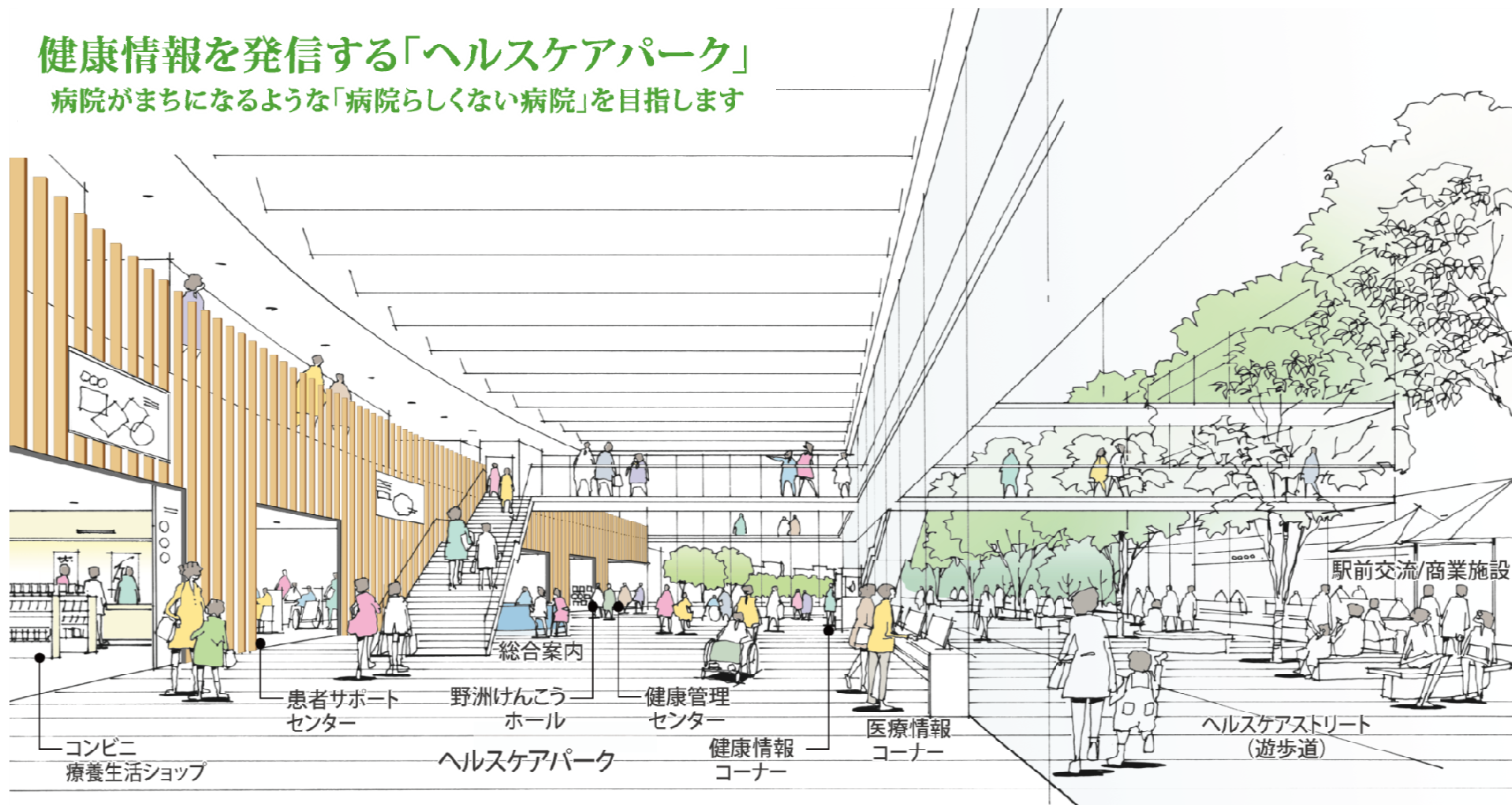


- 市民デッキを設け、立体駐車場から安全なアプローチを確保します。
- 病院、市民広場、道路の仕上げを統一し、安全な歩行者空間を確保し、ヘルスケアパークと市民広場を連続させることを検討しています。

14. 参考資料

健康情報を発信する「ヘルスケアパーク」

病院がまちになるような「病院らしくない病院」を目指します



健康づくり発信の要「ヘルスケアパーク」から広がるにぎわいのイメージ

ヘルスケアパークでは、向かい側の交流/商業施設と一体となり、遊歩道の両側に、魅力的で、歩いていてワクワクするような、いつでも活気のある空間を目指しています。